

## 第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	聖アンナの園
経営主体(法人等)	社会福祉法人 カリタスの園
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 4-1-19
設立年月日	昭和32年 4月 1日
評価実施期間	令和 元年 5月 ～ 元年11月
公表年月	令和 2年 1月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
<b>総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）</b>	
<p><b>【施設の立地・特徴】</b></p> <p><b>・立地および施設の概要</b></p> <p>聖アンナの園はJR大船駅から徒歩約10分。周囲は住宅街、隣は鎌倉市立大船中学校、バス通りを挟んだ向かいは大企業研究所の敷地となっており、開放感のある立地です。平成28年に築後50年を経た園舎を建て替えました。設計士の助言を得ながら、職員も交えて部屋の配置などについて検討を重ね、外壁や内壁の角を全体的に丸い曲面にして、優しい雰囲気を感じられる2階建ての園舎としました。1階、2階の両階に大勢が集まれるホールや職員の休憩室、テラス、バルコニーがあるほか、図書室や、約1215㎡の園庭を備え、広々とした造りになっています。玄関には聖マリア像が置かれ、吹き抜けの壁面には、1階から天井まで達する聖母子像と聖誕劇の色鮮やかなステンドグラスがはめ込まれています。クラス名としている花や、大船の歴史を表す魚のデザインも織り込まれたその美しい絵を、0歳から5歳まで154名の子どもたちはいつも見ながら生活しています。</p> <p><b>・園の特徴</b></p> <p>社会福祉法人カリタスの園（昭和7年設立）が運営するカトリック系の保育園です。昭和27年に地域の要請を受け、レデンプトール会（男子修道会）が「聖アンナの園」として開所した保育所を、昭和32年から（社福）カリタスが引き継ぎました。「カリタス（CARITAS）」はラテン語で「憐み深い愛」を意味し、聖アンナの園名は聖母マリアの母の名前に由来しています。園では、カトリックの精神に根差した園のビジョン、園児のミッション、職員のミッションが明文化され、朝礼、行事などで唱和し、園児は食事や活動、午睡など生活の節目、節目の始まりと終わりでお祈りをします。健全な青少年育成のために、こころの教育を重視し、イタリアのボスコ神父が「一人一人の中に神はいる」と諭し、「共にいて、共に育つ」ことを実践した「ドン・ボスコ予防教育法」を基に、一人一人が愛されていると実感できる保育を目指しています。</p> <p><b>【特に優れていると思われる点】</b></p> <p><b>1. 園の長い歴史の中で受け継がれてきた多彩な活動のプログラム</b></p> <p>専任講師による体操や英語の指導、宗教教育、運動会で披露するカラーガード、バトン、和太鼓などの習得、野菜の栽培や調理体験など、様々なプログラムが用意されています。各クラスにピアノが置かれ、園児は毎日季節の歌や讃美歌を歌ったり、自分の鍵盤ハーモニカを演奏して、歌に親しんでいます。図書室で絵本を楽しんで見たり、広い園庭やホールで、思い切り身体を動かして遊んでいます。お祈りの時間、マリア祭などの宗教的行事、赤い羽根共同募金活動への参加、嘱託医や、郵便局、消防署、警察署への訪問、商店街の散策、ボランティアとの関わり、他園との交流など、多様な生活体験や地域の方との触れ合</p>	

いを通して、友だちと協力してやり遂げる喜びを味わったり、祈る心、感謝する心を学びながら視野を広げています。

## 2. 園と保護者とのビジョンの共有

ホールおよび各クラスに、2007年、当時の職員らで作られたビジョンを掲示しています。全職員にビジョンを解説した資料が配布され、職員は毎日の朝礼でビジョンを唱和することで、目指すべき園の姿を確認しています。ビジョンは園のパンフレット、重要事項説明書および園のホームページに明記され、保護者には見学の時点から説明しています。入園後も保護者が参加する主要な行事では、一緒にビジョンを唱和してもらって周知し、共有しています。今回の第三者評価の利用者家族アンケート（回収率70%）では、園の基本理念や基本方針について、合わせて93%の保護者が「知っている、まあ知っている」と回答し、ビジョンの内容にも賛同しており、園のビジョンが保護者としっかり共有されています。

## 3. 非常勤職員も含めた全職員で課題を検討する仕組み

事業計画と全体的な計画をはじめとする各計画書および法人の基本理念、職員の倫理綱領、就業規則などの資料、基本的な業務マニュアルが非常勤職員にも配布されています。全体的な計画は、クラス会議で話し合った内容を職員会議、運営委員会、主任会議で順次検討して決定しています。毎年1月の園内研修では、当年度の各活動を年間目標に照らして点数化した評価案を全職員で持ち寄り、4領域で分かれたグループ討議の後、全員で園としての自己評価を決定するなど、全職員で課題を検討する機能的な仕組みがあります。共に学ぶ姿勢を大切にしており、今年度からは、非常勤職員にも個別の目標を設定し、達成度を評価する仕組みを導入しました。経験や実績によって役職を与え、やりがいを感じてもらいながら他園や他業種での豊富な経験や能力を保育に生かせるように配慮しています。

### 【特に改善や工夫などを期待したい点】

#### 1. 保育環境の工夫と、より主体的に遊べるような取り組みを

保育室が広く、子どもの数が多いため、職員から子どもの姿がよく見えるようにして安全に過ごすことを優先していますが、低年齢児が小集団で落ち着ける場所や、子どもが職員や友だちの視線を意識せずに一人で過ごせる場所、長時間保育の中でくつろいで過ごせる場所の確保が求められます。また、子どもがより主体的に遊べるように、自らおもちゃを自由に選んで取り出せるような収納や、創作意欲を引き出す多様な素材を置いておく工夫、自分の好きなことをして遊べる十分な時間の確保なども望まれます。さらに、子どもの自由な発想や意見を取り入れて、集団活動につなげるような活動を、より一層取り入れることを期待します。

#### 2. 子どもの個性や多様性を認め、穏やかな子どもへの声かけを

多様な行事やプログラムがあるため、特に3～5歳児は、行事での発表の練習など、決められた時間の中で大勢で行う一斉活動の機会が多く、早くできる子どもも時間がかかる子どももいることから、早口や、強い口調で、「〇〇して下さい」と子どもに指示をすることが見受けられました。子ども一人一人の個性や多様性を受け入れ、一人一人が愛されていると実感できるよう、時間に追われることなくゆったりと、温かい態度・言葉遣いで子どもに接すること、声をかけるときの言葉、声の大きさやトーン、話し方の速度などについて、職員同士で振り返る機会を設けることが望まれます。

#### 3. 2歳児以上の子どもの保護者にも、その日の子どもの様子を伝える工夫を

その日のクラスの様子は、クラス前にある小型のホワイトボードで伝え、一人一人の子どもの様子は職員が口頭で送迎時に伝えるよう努めています。0、1歳児については毎日、保護者と育児日記（連絡帳）のやり取りがありますが、利用者家族アンケートでは、送迎時の子どもに関する情報交換について、22%の保護者が「不満・どちらかと言えば不満」と答えており、他項目に比べるとやや不満度が高くなっています。2歳児以上の連絡帳の使い方を見直したり、その日のその子どもの様子を口頭で伝えるためのより一層の工夫をすることが期待されます。

## 評価領域ごとの特記事項

### 1.人権の尊重

- カトリックの精神に根差したビジョンの実現を目指して、カトリックの「ドンボスコ教育法」に沿って基本方針が策定されています。「相手の目線に立って、一人一人が愛されていることを実感できる保育を目指す」として、その内容は子ども本人を尊重したものとなっています。
- 年度初めに園長から職員に、子どもへの言葉遣いなどについて指導し、園内研修の中で子どもへの対応について話し合いをして、注意を喚起しています。
- 個人情報取り扱いマニュアルがあり、守秘義務などについて、園長から、職員、ボランティア、実習生に説明しています。
- 子どもに指示をしたり、声をかけるときの言葉、声の大きさやトーン、話し方の速度などについて、職員同士で振り返る機会を設けることが望めます。
- 子どもが一人でいたいときやあまり周囲から声をかけてほしくないときなどに、職員の目が届きながら、一人で過ごせる場所の確保について、検討されることを期待します。
- 職員間でジェンダーフリーの考え方について学び、無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で日常の保育を振り返る機会を定期的に設けることを望みます。

### 2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- 各保育室には、年齢に応じたおもちゃや教材を備え、3～5歳児クラスでは、朝9時30分ごろまでを「自己活動」の時間としており、そのときに遊ぶ教材は年齢により内容を変えています。
- 園庭のプランターで、各クラスで夏野菜を中心に栽培して、水やりや野菜の成長を観察したり、収穫後は、調理を楽しむなど保育活動につなげています。
- 園の保育目標に「自分から挨拶できる子ども」と掲げ、毎月前半に挨拶週間を設け、地域のお店の方に挨拶しています。
- 年に1、2回、2～5歳児の縦割りグループでゲームを一緒に楽しんだり、カレーパーティーや誕生会などの行事で交流を図っています。
- 園庭は広く、0～2歳児クラスは雨が降っていなければほとんど毎日、3～5歳児は主活動の前後に遊んでいます。園庭では、複数ある固定遊具で遊んだり、雨の日でも1階、2階の両階のホールで年齢や発達に応じて身体を動かして遊んでいます。3～5歳児クラスは専門講師による体育遊びを週1回行っています。
- 1歳児クラスから白玉づくり、おにぎり作りなどの調理体験を調理員と一緒に楽しんでいます。送迎ホールに、野菜のクイズや珍しい野菜を展示するなどして、子どもと保護者が食に興味を持ったり、一緒に楽しめるよう工夫しています。
- 午睡時の呼吸チェックは、0歳児は5分おき、1歳児は10分おきに行い、記録しています。
- 0、1歳児は育児日記があり、その日の子どもの様子を毎日伝えています。全ク



	<p>ラスにホワイトボードがあり、その日の保育の様子を伝えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 年1回、保育士体験ができる機会があり、保護者が保育士と一緒に製作をしたり、子どもたちの食事の介助をし、給食も一緒に食べてもらっています。</li> <li>• 数種類のおもちゃや教材を低い棚に置き、自分で取り出すことはできますが、多くのおもちゃは自由に取り出せない状況となっています。子どもがより主体的に遊べるよう、自らおもちゃを自由に選んでじっくりと遊べるような取り組みが期待されます。</li> </ul>
<p><b>3.サービスマネジメントシステムの確立</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体的な計画に基づき、年齢ごとに、年間指導計画、月間個別指導計画（0～2歳児）、月間指導計画（3～5歳児）週間指導計画、デイリープログラム（3歳未満児、3歳以上児）を作成しています。</li> <li>• 緊急連絡票のファイルがあり、顔写真つきで健康に留意すべき子どもの一覧表が作成されています。食物アレルギーについては、かかりつけ医の指示の下で、除去食または代替食を提供しています。</li> <li>• 苦情解決方法について、園のホームページに詳細を掲載し、前年度に受け付けた苦情件数と内容・対応結果をプライバシーに抵触しない範囲で公表しています。</li> <li>• 重要事項説明書および玄関に置かれた意見箱に第三者委員の連絡先が明記されており、保護者が第三者委員に直接苦情を申し立てることができます。</li> <li>• 低年齢児には少集団で落ち着ける場所の確保が必要です。子ども達が過ごしやすく、くつろげる空間となるよう保育室の使い方の工夫が望まれます。</li> <li>• 感染症が一人でも発生した場合には、速やかにクラスや送迎ホールの掲示板に感染症情報を掲示し、注意事項などを明記して感染拡大防止を呼びかけています。</li> <li>• 四半期ごとに目標を明記した「防犯・避難訓練年間指導計画」を基に、防犯（不審者）、地震、火災を想定し、想定場所や想定時間を変えて、毎月災害避難訓練を実施しています。二次避難場所への誘導訓練や大規模防災訓練、保護者による引き取り訓練を行っています。</li> <li>• 小さなケガであっても、園長、主任に伝え、保護者に伝えるよう努めています。</li> </ul>
<p><b>4.地域との交流・連携</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 鎌倉市の交流保育事業に参加して公開保育を行い、園庭開放を行っています。また、保育実施委託事業を行い、他園の子どもと園児が園庭で遊んだり、一日動物村や夏祭り、運動会、クリスマス会などに招待しています。</li> <li>• 5歳児を中心に、幼児は地域の方と交流を図ったり、地域の活動に触れる機会を多く持つよう心がけています。5歳児が大船駅で赤い羽根共同募金の活動に参加しています。勤労感謝の週に嘱託医、消防署、警察署を手作りの品を持って訪問しています。5歳児が商店街を散策し、八百屋や宝飾店を見学しています。</li> <li>• 園のパンフレット、ホームページにより保育園の情報を提供しています。ホームページは園長が更新し、保育園の生活や園で大切にしている心の教育を明記し、ブログでは日々の保育の様子を具体的に伝えています。</li> <li>• 小学校と年3回ほど交流したり、近隣の保育園と年3回ほど交流を図り、園で5</li> </ul>

	<p>歳児が他園の子どもと一緒に遊んだりゲームをするなどしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園見学は基本的には常時可能で、見学者の都合に応じ、1日に3、4組が一緒に見学をしています。見学者は年間100組を超え、園内の見学は時間をかけて行い、理念や保育方針を説明しています。</li> <li>・近隣の方や中学校のボランティア部など複数のボランティアの登録があり、継続してボランティア活動をしてもらっています。</li> <li>・見学時の育児相談を充実させたり、地域に向けた講習で育児相談を行うなど、より専門性を生かした相談対応ができることを期待します。</li> </ul>
<p><b>5.運営上の透明性の確保と継続性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員に配付される資料の中に「カリタスの園職員倫理綱領」があり、職員が守るべき規範が周知されています。</li> <li>・毎年、各年度の事業計画などの資料を、非常勤職員も含む全職員に配付しています。</li> <li>・職員は朝礼時に、ビジョンとミッションを交互に唱和しています。年3回実施する園内研修で、その内容について確認しています。</li> <li>・毎月1回、運営委員会（園長、総主任、各クラス主任、調理担当が出席）を開催しているほか、随時、副主任会議（園長、総主任、副主任が出席）を開催して、重要な議題について話し合っています。</li> <li>・中期計画として「6年間の目標」が策定されており、それに沿って、単年度の目標設定と4分野に分けた「Programming 活動計画」が立てられています。</li> </ul>
<p><b>6.職員の資質向上の促進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人により「カリタスの園 キャリアパス」が策定されており、職責、求められる能力、対応役職、対応職種、業務内容、のほか「任用の要件」として「習熟に必要な業務教育、資格」を職員の段階に応じて明確に示しています。</li> <li>・「個人目標管理シート」（一般職、指導職）があり、職員が個別に設定目標と取組過程を明文化し、年2回設定目標の確認と振り返りを行い、園長と面談して、次年度の目標設定につなげています。</li> <li>・今年度から非常勤職員にも「個人目標管理シート」により達成度を評価して、次年度の目標設定につなげていく仕組みを導入しました。非常勤職員にも経験や実績によって役職を与えるなど、やりがいを感じられるように配慮しています。</li> <li>・全国保育士会研究大会、保育協議会、鎌倉市民間保育園園長会、鎌倉市保育士会主催の研究會などに非常勤職員も含む職員が順番に参加しています。一昨年からは、指導職以上の職員が所定のキャリアアップ研修に参加しています。</li> <li>・毎年、園内研修を年3回、4月、11月、1月の土曜日に、非常勤を含む全職員が参加して実施しています。</li> <li>・実習生を受け入れ、実習の目的を把握し、事前に実習クラス担任と実習生が話し合い、効果的な実習ができるようにプログラムの配慮をしています。</li> </ul>



## 評価機関による評価



令和元年11月8日

### 事業所名 聖アンナの園 保育園



 3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

#### 評価領域 I 子ども本人の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>I-1</b>  <b>保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カトリックの精神に根差したビジョンが作られており、子ども一人一人が大切にされ、元気で明るい素直な子どもに成長することなどを掲げています。ビジョンの実現を目指して、カトリックの「ドンボスコ教育法」に沿って基本方針が策定されています。「相手の目線に立って、一人一人が愛されていることを実感できる保育を目指す」として、その内容は子ども本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・ホールおよび各クラスに、ビジョンおよびミッションが掲示され、職員は毎日、朝礼でビジョンとミッションを1週間ずつ交互に唱和しています。</li> <li>・全体的な計画の保育方針に、家庭的な雰囲気の中で、常に子どもの健康と安全を心がけながら、基本的な生活習慣の自立を援助し、年齢に応じた保育・教育を行うことを掲げ、自分から挨拶のできる子ども、祈る心、感謝する心をもつ子ども、命を大切にすることを育てることを園目標としています。豊かな心身の育成のため、宗教教育、専任講師による体育、英語の指導、マリア祭をはじめとする多様な行事を設定しています。</li> <li>・全体的な計画に基づき、年齢ごとに、年間指導計画、月間個別指導計画（0～2歳児）、月間指導計画（3～5歳児）週間指導計画、デイリープログラム（3歳未満児、3歳以上児）を作成しています。</li> <li>・0～2歳児については子どもの動きや表情を観察し、言語化できる3～5歳児の場合は、子どもの言葉を受け止め、どこで何をしたいのか、子どもの意思が実現できるよう、計画には柔軟性をもたせています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が参加する行事で、保護者にもビジョンを唱和してもらい、園の理念を周知しています。</li> </ul>
<p><b>I-2</b>  <b>子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園決定後、個別または少人数のグループで、順次、面接をしています。面接時には子どもや親子の様子を観察し、園所定の様式に沿って、生育歴や、既往症、アレルギーの有無、家庭での過ごし方、特に気を付けてほしいことなどを聞き取り、個人別のファイルに集約して日々の保育に生かしています。</li> <li>・0～2歳児の新入園児について、保護者には、環境が急に変わることによる影響が心配されることを説明し、基本的には1週間の短縮保育を勧め、徐々に保育時間を延長していくことを提案しています。子どもの慣れ具合や保護者の事情によって柔軟に対応しています。</li> <li>・0、1歳の新入園児には個別に主担当保育士を決めています。2歳以上の子どもについても、1クラス当たりの人数が多いため、主担当の職員を決めて対応しています。2歳から3歳への進級にあたっては、3学期に、職員と一緒に2階の新しいクラスの部屋を見学したり、園の制服を着る練習をしたりして、スムーズに移行できるようにしています。</li> <li>・指導計画は、子どもの姿を振り返り、子どもの発達や状況に応じて作成・評価・見直しを行っています。子どもの成長の様子や課題については、午睡時のクラス会議や随時の打ち合わせを通じて職員間で共有しています。</li> <li>・0歳児のクラスでは、職員が子ども一人一人に対して、顔を見ながら喃語に応</li> </ul>

	<p>じ、「おいしいね」「気持ちよくなったね」と応答的な関わりをしています。職員は子どもの様子をよく見て、一人一人の要求を把握するように努め、おむつは、汚れたらすぐに取り替え、子どもが眠いとき、泣いて機嫌の悪いときはスキンシップを図り、温かく接しています。1階のホールに、マットで作った山、ボールプール、豆自動車、低い木製ジャングルジムなどを置いて十分に体を動かせるようにしたり、保育室に、握れるおもちゃ、手触りが心地よいおもちゃ、音が出るおもちゃなど、0歳児にふさわしいおもちゃや絵本を置いて、子どもが興味や好奇心を持って遊べるようにしています。日々の育児日記（連絡帳）のやり取りや送迎時の会話、個人面談により、保護者と情報共有して保育に生かしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳以上3歳未満児では、職員が、洋服を着たり畳んだりする場面で、できるだけ手を出さずに見守り、食事の場面では、近くで見守りながら、「おいしいね」と声かけしたり、食材をすくいやすいように集めたりしています。やり方を伝え、できたことを褒めることで、自分でやりたい気持ちを高め、実現できるように援助しています。保育室内に、段ボールの家などを用意して、ジャンプしたり、よじ登ったり下りたりして、全身を使った遊びができるようにしています（1歳児）。運動会の種目に、忍者になって技巧台を渡ったりロープをくぐったりする障害物競走を設定し、楽しみながら練習をしています（2歳児）。</li> <li>・3歳以上児では、毎週体育の外部講師が来園して基本的な運動の指導を受けるプログラムがあり、楽しみながら身体を動かしています。数字に興味を持てるように、遊びの中で、「何人いるかな」と呼びかけるなど「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は日常の保育のあらゆる場面につながっていることを意識して援助しています。運動会では、パラバルーン（4、5歳児）、和太鼓の演奏（4歳児）、組体操（5歳児）など、みんなと協力して一つのことをやり遂げる喜びが感じられる種目を設定しています。</li> <li>・1階、2階の両階にホールがあり、雨の日でも広いスペースを使って身体を動かして遊ぶことができます。園庭には、砂場のほか、ローラー滑り台、アスレチック風の遊具、小さいログハウスなど、種類の違う固定遊具がいくつも設置されています。銀杏やびわの木があり、木の葉集めや、虫探しをすることができます。図書室には、パーテーションや小さい椅子を置き、絵本は帯をはずして表紙が見えるように並べるなど工夫しています。</li> </ul>
<p><b>I-3</b>  <b>快適な施設環境の確保</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室は十分な陽光が入り明るく、毎日2回温湿度を測り、加湿器を使用して適度な湿度を保ち、換気扇および窓開けによって換気をしています。</li> <li>・各クラスにピアノが置かれ、歌の伴奏などにはピアノを用いています。</li> <li>・1階0歳児クラス隣接スペースに沐浴設備、1階2か所（1か所は屋外プール用）、2階1か所に温水シャワーの設備があります。</li> <li>・「掃除場所当番表」があり、職員で分担して清掃しています。園の内外とも清潔に保たれていました。</li> <li>・1階の0～2歳児のクラスは、保育室の半分が畳、半分がフローリング、2階の3～5歳児のクラスは、すべてフローリングとなっています。十分な広さがあり、寝食の機能別の空間が確保されています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の過ごし方として、一斉活動が多く、活動によりスペースを分けたり、一部をコーナーにすることはありますが、小集団保育をするために保育室を分けて使うなどの取り組みはしていません。特に低年齢児には少集団で落ち着ける場所の確保が必要です。子ども達が過ごしやすく、くつろげる空間となるよう保育室の使い方の工夫が望まれます。</li> </ul>
<p><b>I-4</b>  <b>一人一人の子どもに個別に対応する努力</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時に「児童票」「入所までの健康の状況」を提出してもらい、既往症、予防接種歴、アレルギーの有無などを把握しています。進級時にも既往症、予防接種歴などを確認しています。</li> <li>・3歳未満児については、月間個別指導計画を作成しています。</li> <li>・子どもの個別ファイルがあり、一定期間ごとに子どもの様子をまとめた「保育</li> </ul>








	<p>経過記録」が残されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な申し送り事項は個別ファイル内に記録し、進級時に旧担任から新担任へ伝えていきます。転園時には必要事項を転園先の様式に従って伝えていきます。保育所児童保育要録は鎌倉市保育課の指示に従い、小学校に送付しています。</li> <li>・子どもの個別ファイルは、職員室に施錠保管されています。職員は必要時いつでも閲覧することができます。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、特別な配慮が必要な3～5歳児の在籍はありません。</li> </ul>
<p><b>I-5</b> 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児や医療的なケアが必要な児童について「施設の構造上受け入れが可能であれば、共に育っていくのが望ましい」とする園の考えを重要事項説明書に明記しています。1階に多目的トイレを備え、今年度9月には1階テラスの段差解消の工事を終了しました。障がい児保育主任がおり、障がい児保育に関する研修に参加して、受け入れに備えています。</li> <li>・鎌倉市こどもみらい部発達支援室、神奈川県次世代育成課など外部の専門機関から助言や情報を得られる体制があります。</li> <li>・「聖アンナの園マニュアル」の中に、子どもの虐待についての項目があるほか、「鎌倉市こども虐待対応マニュアル～保育所用～」を備え、全職員に虐待の定義などが周知されています。ケース対応の際には、市のパンフレットを用いて、改めて市の職員から虐待の定義などの説明を受け学習しました。</li> <li>・児童相談所や鎌倉市こども相談課など、関係機関と連絡を取る際は園長が窓口となり、相談や連携がとれる体制ができています。</li> <li>・子どもの話や様子から虐待が疑われる場合には記録を残し、保護者から相談してもらえよう声をかけ、虐待の予防に努めています。</li> <li>・食物アレルギーについては、かかりつけ医の指示の下で、除去食または代替食を提供しています。調理職員が県立こども医療センターや鎌倉市保健所主催の食物アレルギーに関する研修などに参加し、職員で情報を共有しています。</li> <li>・食物アレルギー児については、入園までに園長、クラス主任、調理員、保護者で対応を確認し合い、給食を提供する際は、名前を付けた専用のトレイと食器を使用し、他児と席を少し離して職員が側につき、職員間で声をかけ合い事故が無いように注意しています。</li> <li>・入園の際には、「ミッション系の園である」と伝えた上で、希望があれば、どこの国の方でも受け入れていきます。園の創設者が外国籍の神父であった経緯もあり、外国籍の方でも日本人でも、違いを認め尊重しています。3～5歳児は英語指導を通じて、他国の文化に触れる機会があります。英語、ポルトガル語、ドイツ語を話す職員がおり、多言語での対応をすることが可能です。</li> </ul> <p>&lt;工夫事例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡票のファイルがあり、顔写真付きで健康に留意すべき子どもの一覧表が作成されています。食物アレルギーについては、アレルギーの原因食材一覧、食べてしまったときに出る症状、保護者の連絡先が記載されており、緊急時には持ち出す仕組みになっています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、障がい児認定を受けている子どもは在籍していません。</li> </ul>
<p><b>I-6</b> 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談・苦情受付担当者は総主任および事務担当者、相談・苦情解決責任者は園長と定められ、重要事項説明書に明記し、入園時に説明しています。玄関に、苦情解決のフローチャートを掲示しています。</li> <li>・第三者委員2名の氏名、連絡先電話番号が、重要事項説明書および玄関に置かれた意見箱に明記され、保護者が直接苦情を申し立てることができます。</li> <li>・苦情解決第三者委員会の規程があり、苦情解決委員会が年2回開催され、園に寄せられた苦情、要望が報告されています。苦情解決委員会記録、苦情相談記録簿、苦情解決結果報告書が整備されています。</li> <li>・要望や苦情については、朝礼にて迅速に職員に周知し、保育にかかわることは園内研修で今後の対応を検討しています。</li> </ul>



	<p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情解決方法について、園のホームページに詳細を掲載しています。前年度に受け付けた苦情件数と内容・対応結果をプライバシーに抵触しない範囲で公表しています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園からは保護者に、園内と第三者委員以外の苦情受付窓口の案内はしていません。かながわ福祉サービス運営適正化委員会など、外部の権利擁護機関を保護者に案内することが望まれます。</li> </ul>
--	---

## 評価領域Ⅱ 保育の実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅱ－1</b> <b>保育内容[遊び]</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各保育室には、年齢に応じたおもちゃや教材を備え、子どもの様子や要望により、ままごと遊びやお絵かき、ダンボール遊びなど2～4種類の遊びのコーナーを設定しています。</li> <li>・園庭のプランターで、クラスごとに夏野菜を中心に栽培して、水やりや成長の観察をしています。収穫後は、厨房で調理してもらって食べたり、カレーパーティーの際に、野菜を洗ったり刻むなど保育活動につなげています。</li> <li>・園庭にある銀杏の葉の色の変化を見たり、園庭でだんご虫探しをしたり、プールサイドの木の葉を集めるなど、自然に触れて遊んでいます。</li> <li>・園の保育目標に「自分から挨拶できる子ども」と掲げ、毎月前半に挨拶週間を設け、地域のお店の方に挨拶しています。</li> <li>・月ごとに歌う賛美歌や季節の歌を決め、毎日みんなで歌っています。絵本を見たりしながら、子どもが自由に歌を口ずさむ姿が多く見られます。</li> <li>・年に1、2回、2～5歳児の縦割りグループでゲームを一緒に楽しんだり、カレーパーティーや誕生会などの行事で異年齢の交流を図っています。</li> <li>・園庭は広く、0～2歳児クラスは雨が降っていなければほとんど毎日、3～5歳児は主活動の前後に遊んでいます。園庭では、固定遊具の丸太や吊り橋を渡ったり、かけっこや縄跳びなど年齢や発達に応じて身体を動かして遊んでいます。3～5歳児クラスは専門講師による体育遊びを週1回行っています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何種類かのおもちゃや教材は低い棚に置かれ、自分で取り出すことができますが、多くのおもちゃは鍵のかかる押入れに収納されており、製作に使える素材なども自由に使える状態にはなっていません。子どもが自らおもちゃや素材を自由に選んで主体的に活動できるような環境の設定、十分な自由遊びの時間の確保が期待されます。</li> <li>・3～5歳児クラスでは行事の発表の場に向けた練習など、決められたプログラムにより活動することが多く、子どもの発想を取り入れてクラスの活動に発展させることはあまり行われていません。子どもの発想や意見を取り入れて、集団活動につなげる活動をさらに取り入れることを期待します。</li> </ul>
<b>Ⅱ－1</b> <b>保育内容[生活]</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「年間食育活動」計画があり、「楽しくおいしく食べることを基本とし、野菜の栽培、調理体験の実施、給食の準備など計画的に食育に取り組んでいます。</li> <li>・給食は、各クラスで職員が盛り付けをしており、食事の量は、子ども一人一人の状況により加減して苦手なものでも少しずつ食べられるようにしています。</li> <li>・皆で楽しく食べることや、自分で食べようとする気持ちを大切にしながら適宜援助をしています。</li> <li>・4、5歳児クラスは、給食の配膳・片付けは、子どもが自分で行っています。</li> <li>・献立には、旬の食材を取り入れることを心がけています。毎日、給食日誌に喫食状況や子どもの感想を記録し、毎月の給食会議で話し合い、食材の切り方や調理方法を工夫しています。</li> <li>・クッキーパーティーや、おにぎりパーティーの日を設けたり、誕生会ではホールで</li> </ul>

	<p>縦割りグループに分かれて食べるなど、楽しい雰囲気作りに配慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午睡は、早く眠くなった子どもは、先に午睡に入れるようにしたり、早く目覚めた子どもは図書室で過ごすなどの配慮をしています。呼吸チェックは、0歳児は5分おき、1歳児は10分おきに行い、「睡眠時観察記録表」に記録しています。2～5歳児は、必ず職員1名が午睡中の様子を注意して観察しています。</li> <li>・トイレトレーニングは、一人一人の発達状況に応じ、保護者と連携を図り、強制せずに励ましながら無理なく進めています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎ホールに、野菜にまつわるクイズや、「お米ができるまで」を絵入りで掲示したり、ピーナツカボチャなど珍しい野菜を展示するなどして、子どもと保護者が食に興味を持ったり、一緒に楽しめるよう工夫しています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0～2歳児クラス、3～5歳児クラスともに子どもの人数が多く、職員配置を厚くしていますが、延長保育の時間帯には、1、2種類のみの遊具を出して、大勢が一つの部屋で遊んでいる状況です。子どもがよりゆったりとくつろいで、好きな遊びをして過ごすことができるような環境づくりが期待されます。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－２</b> 健康管理・衛生管理 安全管理 [健康管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聖アンナの園マニュアル」の中に、健康管理マニュアルがあり、事務室のほか、各保育室にマニュアルを置いていつでも確認できるようにしています。</li> <li>・基本的なマニュアルは非常勤職員を含む全職員に配付されています。マニュアルの研修は採用時に行うほか、見直しを行う際に、毎年行っています。</li> <li>・入園時に既往症、予防接種歴、アレルギーの有無などを把握し、入園後の既往症や予防接種は、その都度保護者から知らせてもらうようにしています。</li> <li>・歯磨きは4、5歳児で行い、視聴覚教材などで歯磨きの方法や大切さを伝えています。</li> <li>・嘱託医による小児健診は年2回、歯科検診、耳鼻科検診、眼科検診は年1回行い、記録してファイルしています。健診後に嘱託医と、気になる子どもについて相談し、指導を受けています。</li> <li>・感染症マニュアルには、衛生管理、感染症発生時の対応、登園禁止基準などが明記され、一人でも発症した場合には、速やかにクラスや送迎ホールに感染症情報を掲示し、症状や注意事項などを伝え、感染拡大防止を呼びかけています。</li> <li>・感染症の最新情報は、鎌倉市保育課からのメールなどにより得ています。感染症や食中毒の情報などを得たときは朝礼で伝え、職員室に掲示しています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－２</b> 健康管理・衛生管理 安全管理 [衛生管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理マニュアル、嘔吐時の対応マニュアルが整備されています。鎌倉市保健所主催のノロウイルスに関する研修に保育士が参加しています。</li> <li>・衛生管理マニュアルは、研修に参加した職員が中心になって職員会議で話し合い、定期的に見直しを行っています。</li> <li>・「掃除場所当番表」に基づき、毎日清掃を行っています。0歳児では、午前中に使用したおもちゃを消毒したり清拭しています。外回りの掃除も曜日を決めて行っています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－２</b> 健康管理・衛生管理 安全管理 [安全管理] </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアル、事故発生時の対応、災害時の役割、災害発生時における対応、風水害及び台風の対応、ミサイル発射時の対応、火災発生時の対応などのマニュアルが整備されています。</li> <li>・各保育室のテレビは鎖で固定し、転倒防止の安全対策をしています。</li> <li>・四半期ごとに目標を明記した「防犯・避難訓練年間指導計画」を基に、防犯（不審者）、地震、火災を想定し、想定場所や時間を変えて、毎月災害避難訓練を、年2回防犯訓練を実施しています。二次避難場所への誘導訓練や大規模防災訓練を実施し、保護者による引き取り訓練を行っています。</li> <li>・小さなケガであっても、園長、主任に伝え、保護者に伝えるよう努めています。</li> <li>・通院が必要なケガがあった場合は、ケガの状況や事故の原因を朝礼や職員会議で共有し、再発防止策を図り、「事故報告書」に記録しています。</li> <li>・出入口はカードキー利用の電子錠で施錠しています。警備保障会社と契約し、消防署にも通報できる緊急通報体制を整えています。</li> </ul>

### Ⅱ－3 人権の尊重



- ・個人情報取り扱いマニュアルが整備されており、守秘義務などについて、園長から、職員、ボランティア、実習生に説明しています。個人情報を含む個別ファイルなどは、職員室の書架に施錠保管しています。
- ・重要事項説明書に、個人情報の取り扱いについて明記し、入園時に園長から保護者に説明しています。クラス電話連絡票への掲載、園のホームページへの園児の写真の掲載は同意を得た方のみとし、保護者にも、行事の時の写真をSNSにアップしないよう協力を求めています。
- ・年度初めに園長から職員に、子どもへの言葉遣いなどについて指導し、園内研修の中で子どもへの対応について話し合いをして、注意を喚起していますが、3歳以上児は1クラスに30人以上と多く、一斉活動や身支度などのときに、早く終わる子と時間がかかる子とでかなり時間差ができ、最初に終わった子がほかの子を待たなければならない場面が日々あり、早くできない子をせかしがちであると自己評価しています。
- ・1階の図書室、2階の廊下の四隅に、子どもに威圧感を与えずに1対1で話し合える場所があり、また、図書室や医務室、相談室など、プライバシーを守れる場所があります。一方、職員は「子どもと共にいて、子どもの安全に努める」という、「ドンボスコ教育法」の考え方により、広い保育室の中で、常に子どもの姿がしっかり見えることを優先しています。
- ・当園では、男児は半ズボン、女児はスカートの制服があるほか、マリア祭や生活発表会で、男女それぞれの衣装を着たり、運動会で男児はカラーガード、女児はバトンの披露をする伝統的な行事や慣例があります。名簿は男女別に男児が先の順番で作成しています。男女別に整列すること、男児から先に名まえを呼ぶこと、行動することもあります。今回の第三者評価受審を契機に、ジェンダーフリーの考え方について職員で話し合いました。誕生日に身に付けるリボンの色は、今年から男女別でなく、子どもが好きな色を選ぶようにしました。
- ・日常的な保育の中で、子どもへの気になる対応があった場合に、職員間で相互に伝え合う仕組みはありません。年2回の面談や個別に話す機会を随時設けて、園長、主任が注意をしています。

#### <コメント・提言>

- ・子どもが一人でいたいときや、あまり周囲から声をかけてほしくないときなどに、職員が目が届きながら、子どもが友達や保育士の視線を意識せず一人で過ごせる場所の確保について、検討されることを期待します。
- ・子どもへの対応の仕方や、ジェンダーフリーの考え方について継続的に学び、職員同士で日常の保育を振り返る機会を定期的に設けることを望みます。



### Ⅱ－4 保護者との交流・連携




- ・保護者には、入園式、保護者総会で園のビジョンとミッション、保育理念、保育方針について説明しています。
- ・0、1歳児には育児日記があり、その日の保育や個々の子どもの様子を毎日伝えています。全クラスの前に小型のホワイトボードがあり、その日の保育の様子を伝えています。
- ・行事の際には専門家に写真、ビデオの撮影を依頼しており、写真の購入ができます。クッキングや水遊びなどの日常の保育の様子は職員が写真に撮り、コメント付きで掲示しています。
- ・個別面談は特に期間を設けず、保育士体験に合わせるなどして、基本的に年1回行っています。随時の相談は、面談室、図書室、会議室で聞き、落ち着いて話せるよう配慮しています。面談や相談の記録を残すことが期待されます。
- ・クラス懇談会は保育参観後に年2回行っています。クラス懇談会ではレジュメを配付し、保育内容やクラス目標、子どもの様子を伝えています。
- ・保育参観では、給食の様子を見てもらったり、保護者と一緒に製作を楽しんだりしています。
- ・父母の会があり、一日動物村、バザー、クラス懇親会を実施しています。バザーは保護者が役割分担して実施しています。父母の会総会に園長が出席し、バザーには保護者からの要請を受け、可能な職員が参加して協力しています。

	<p>父母の会の役員やクラス委員とは、きめ細かくコミュニケーションを図り、良好な関係を保つよう努めています。</p> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回保育士体験ができる機会があります。保育士と一緒に保育に入って製作をしたり、子どもたちの食事の介助をし、給食も一緒に食べています。ほぼ半数の保護者が参加しており、保育内容や子どもの成長を理解してもらう機会となっています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の子どもの様子は、育児日記（0、1歳児）や口頭で送迎時に伝えるよう努めていますが、保護者から、送迎時にさらなる情報交換を求める声があります。2歳児クラスでの連絡帳の使い方を見直したり、その日のその子どもの様子を口頭で伝えるためのより一層の工夫をすることが期待されます。</li> </ul>
--	--



### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅲ－1</b> 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長が鎌倉市民間保育園園長会に参加するほか、職員が幼保小教育連携事業の幼児教育研究協議会に参加し、小学校入学までの学びをテーマに研究したり、鎌倉市社会福祉協議会の施設部会、社会貢献委員会に鎌倉市民間保育園の委員として参加しています。</li> <li>・年1回、鎌倉市の交流保育事業に参加して、公開保育・園庭開放を実施したり、保育実施委託事業により、保育室ハピネスの子どもと園児が園庭で遊んだり、一日動物村や夏祭り、運動会、クリスマス会などに招待しています。公開保育では、園内を見学して保育を知ってもらい、参加者からの質問に応じています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、離乳食作りや食事についての講演をしたいなどの構想がありますので、具体的な計画を立てて実施することを期待します。</li> </ul>
<b>Ⅲ－2</b> 保育所の専門性を生かした相談機能 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学時に育児相談を受けることはありますが、相談日を設けての育児相談は行われていません。見学者に一日動物村について情報提供し、招待しています。</li> <li>・鎌倉市役所こどもみらい部こども支援課、相談課、保育課、鎌倉三浦地域児童相談所、警察署、鎌倉保健所、小学校、中学校、病院・クリニック、第三者委員などをリスト化した「関係機関・団体の一覧表」があり、常に職員が取り出して確認でき、関係機関と連絡が取れる体制ができています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な育児相談の日を設けたり、地域に向けた講習会の場で育児相談を行うなど、専門性を生かした相談機能の充実を期待します。</li> </ul>


### 評価領域Ⅳ 開かれた運営



評価分類	評価の理由（コメント）
<b>Ⅳ－1</b> 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会、生活発表会、一日動物村などの行事に地域の保護者や子ども、見学者を招待しています。</li> <li>・バザーのときに、短大や中学校にブラスバンドやフラダンス、太鼓の演奏などを披露してもらっています。隣接の大船中学校のボランティア活動部の生徒が定期的に園を訪問したり、中学校の家庭科の授業の一環として、生徒が子どもと関わったりしています。</li> <li>・近隣の保育園と年3回ほど交流を図り、園で5歳児が他園の子どもと一緒に遊んだりゲームをするなどしています。</li> <li>・職員が行事の前に、4、5歳児と一緒に近隣住民宅に招待状を持って挨拶に行ったり、園周辺のごみ拾いをしています。</li> <li>・5歳児は地域の図書館を利用して絵本を見たり、郵便局に行って自分で書いた</li> </ul>




	<p>ハガキを投函しています。</p> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児を中心に、幼児は地域の方と交流を図り、地域の活動に触れる機会を多く持つよう心がけています。5歳児が大船駅で赤い羽根共同募金の活動に参加しています。勤労感謝の週に手作りの品を持って、嘱託医、消防署、警察署を訪問しています。5歳児が商店街を散策し、八百屋や宝飾店を見学しています。</li> </ul>
<p><b>IV-2</b> 保育所における福祉サービスに関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパフレット、ホームページにより保育園の情報を提供しています。保育方針、保育時間、保育内容、保育園の生活や園で大切にしている心の教育について明記し、ブログで日々の保育の様子を具体的に伝えています。</li> <li>・福祉専門新聞に5歳児の赤い羽根共同募金の活動についての情報を掲載したり、保育用品のカタログ雑誌に園舎の写真の掲載や園の紹介をしています。</li> <li>・園見学は基本的には常時可能で、見学者の都合に応じ、1日に3、4組が一緒に見学しています。見学者は年間100組を超えますが、見学は時間をかけて行い、理念や保育方針を説明しています。アルバムを紹介しながら、行事や父母の会などについても説明しています。</li> </ul>
<p><b>IV-3</b> ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア、実習生受け入れマニュアルがあり、事前のオリエンテーションで保育園の基本方針、子どもへの配慮、守秘義務などを説明しています。</li> <li>・近隣の方や中学校のボランティア部など複数のボランティアの登録があり、継続してボランティア活動をしてもらっています。子どもと会話をしたり、遊び相手や絵本の読み聞かせをしてもらっています。</li> <li>・実習生の要望に応じて実習クラスを決め、事前に実習クラス担任と実習生が話し合い効果的な実習ができるようにプログラムの配慮をしています。</li> <li>・実習最終日には反省会を行い、実習生と実習クラス担任、他クラス担任、園長で振り返り、意見交換や助言をしています。</li> </ul>



## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1</b> 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人により「カリタスの園 キャリアパス」が策定されています。一般職（初級～上級）、指導職、上級指導職、管理職の6段階にわたり、職責、求められる能力、対応役職、対応職種、業務内容、「任用の要件」として「習熟に必要な業務教育、資格」が明示されています。</li> <li>・「個人目標管理シート」（一般職、指導職）があり、職員が個別に設定目標と取組過程を明文化し、年2回（6月、10月）設定目標の確認と振り返りを行い、園長との面談の中で達成度を評価して、次年度の目標設定につなげていく仕組みがあります。今年度からは職員の声を受けて、非常勤職員にも同様の仕組みを導入しました。</li> <li>・毎年、園内研修を年3回、4月、11月、1月の土曜日に、非常勤を含む全職員が参加して実施しています。土曜保育にあたる職員も交替しながら、参加しています。研修計画は園長が立てていますが、職員も問題意識を持って年間活動計画に沿った研修テーマを提案しています。全国保育士会研究大会、保育協議会、鎌倉市民間保育園園長会、鎌倉市保育士会主催の研究会などに非常勤職員も含む職員が順番に参加しています。一昨年からは、指導職以上の職員が所定のキャリアアップ研修に参加しています。職員が外部研修に参加する際には、保育に支障が出ないよう園長や総主任がクラスに入り、研修に行きやすいようにしています。</li> <li>・毎日の朝礼や毎月の職員会議の中でも、県内での感染症や食中毒の発生、他園での保育中の事故や不適切な対応のニュースなどを議題に取り上げたり、設置法人からの情報を園長から伝達して短時間の研修としています。</li> <li>・事業計画と全体的な計画をはじめとする各種計画書および法人の基本理念、職員の倫理綱領、就業規則などを収めた資料が非常勤職員にも配布されています。他園や他業種での経験が豊富な非常勤職員の視点は貴重なものと捉え、そ</li> </ul>

	<p>の経験や能力が最大限に生かせるように検討して配置を決定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の誕生日には、他の全職員がその職員の「良いところ探し」をして紙面にまとめて伝え、職員間の良好な関係が築かれています。</li> </ul>
<p><b>V-2</b> 職員の技術の向上 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年1月の園内研修で園としての自己評価を行う仕組みがあります。次年度の事業計画策定に向けて、「6年間の目標」（当園の中期事業計画）のうち、今年度の年間目標に沿って、各活動の評価案を全職員が持ち寄り、領域ごとに分かれたグループ（①共同体づくり、②宗教的、③教育的健康・言語・表現、④社会的・人間関係・環境）ごとに討議して点数化した結果を発表し、全員で検討・確認して、園としての自己評価を決定しています。</li> <li>・年度末の人事考課で、人事考課チェックシートに沿って自己評価する仕組みがあります。一般職のチェック項目には、保育士としての知識や専門性、園児や保護者の人権擁護に関する具体的な内容の細項目が含まれています。</li> <li>・園内研修の中で、サービス改善に向けた事例検討や勉強会をしています。市の保健師、神奈川県次世代育成課、鎌倉市の発達支援室などから助言、指導を受けることができます。</li> <li>・保育については、年間指導計画、月間個別指導計画（0～2歳児）、月間指導計画（3～5歳児）、週間指導計画および保育日誌の書式が定型化され、自己の実践を振り返り、記録できるようになっています。前月の評価を受けて、次月の保育者の関わり・配慮事項を変更するなど、保育士は自己評価した内容を次の計画作成に生かしています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所としての自己評価は、これまで公表したことがありません。何らかの形で、保護者や地域に公表することが望まれます。</li> </ul>
<p><b>V-3</b> 職員のモチベーションの維持 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「カリタスの園 キャリアパス」が策定され、周知しています。</li> <li>・設置法人共通の人事考課制度があり、年度末に総主任が第一次考課者、園長が第二次考課者となり、人事考課チェックシート（一般職）、人事考課シート（指導職）に沿った自己評価を基に面談を実施しています。結果は、一般職は点数化、指導職はランク付けがなされ、評価に応じて給与や賞与に反映されます。</li> <li>・常勤職員は年2回（6月、10月）、非常勤職員は年1回（10月）、園長と面談の機会があります。園長は面談の際に、次年度担当したいクラスや働き方の希望などの要望を把握しています。職員は何か提案があれば、園長に伝えています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から非常勤職員にも「個人目標管理シート」によって個別に設定目標と取組過程を明文化し、達成度を評価して、次年度の目標設定につなげていく仕組みを導入しました。非常勤職員にも経験や実績によって役職を与えるなど、やりがいを感じられるように配慮しています。</li> </ul>

## 評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>VI-1</b> 経営における社会的責任 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員に配付される資料の中に「カリタスの園職員倫理綱領」があり、職員が守るべき規範が周知されています。</li> <li>・財務諸表、事業報告書が設置法人のホームページで公開されています。</li> <li>・年3回の園内研修、月1回の職員会議、毎日の朝礼の中で、随時、子どもへの暴言や暴力などの不適切事例や子どもの死亡事故などの報道を取り上げ、当園での保育の振り返りやマニュアルの再確認をして、望ましい対応について共有しています。設置法人本部から、毎月、情報提供や注意喚起のファックスが送られています。</li> <li>・設置法人に人権擁護委員会が設けられており、子どもの権利条約についての学習やケース会議の実施、報道された不適切事例についての検討など、各園での人権擁護にかかわる取組を定期的に報告する仕組みがあります。</li> <li>・設置法人の経理規程に沿って、内部監査、外部監査が毎年実施されています。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員休息室に分別用ゴミ箱および分別マニュアルを置いてビン、プラスチックごみ、紙類を分別処分しています。園庭にコンポストを設置し、給食で出る残飯を肥料づくりに活用し、生ごみの減量化に取り組んでいます。</li> <li>・エアコンの温度を適切に設定・管理して、省エネルギーに取り組んでいます。</li> <li>・6年間の目標の「社会的・人間関係・環境」分野の目標の中で「子どもたちが身の回りの環境に感謝し、思いやりの心を持って、環境問題に取り組むことができるようになる」と明文化し、令和元年度の目標を「自分の身の回りの環境について関心を持つ」と定め、電気や水、紙の大切さを知る活動を計画しています。年3回「電気を使わない日」を設け、9時～16時30分まで照明を点けないで過ごす経験をしたり、日ごろから職員が子どもに水や紙の大切さについて話しています。</li> </ul>
<p><b>VI-2</b>  <b>施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、各年度の事業計画などの資料を、非常勤職員も含む全職員に配付しています。設置法人の成り立ちや理念などを写真も交えてわかりやすくまとめたポケットサイズの携帯用パンフレット（「CARITAS LIFE」）を配付しています。</li> <li>・採用時に園長から理念・基本方針を説明するほか、年度末の人事考課で設置法人の理念、当園のビジョンとミッションの理解と実践を確認しています。</li> <li>・園長は父母の会総会に出席するほか、毎月開催されるクラス委員会にも要請があれば出席しています。正副会長や役員とは必要時に意見交換をし、折に触れ相談を受けています。</li> <li>・令和元年10月からの保育料無償化など重要な制度の変更については、保護者向けの説明会を8月に2回に分けて実施するなど、保護者に理解してもらえるよう配慮しています。生活発表会の会場、進級式の実施など保護者の関心が高い行事の変更事項については、保護者にアンケートを実施し、意向を確認したうえで検討をしました。</li> <li>・設置法人の年間研修計画の中に主任を育成する研修会が設定されており、主任クラスの職員が参加しています。</li> <li>・総主任がフリーの立場で、園全体の状況把握をしているほか、0歳児、1、2歳児、3歳以上児担当の副主任がおり、各クラスの職員の状況を把握しています。</li> <li>・主任は人事考課の一次考課者として、個々の職員の能力や経験を把握しており、助言や指導を行っています。毎月のシフトの作成や、有給休暇の申請受付によって、職員の勤務状況を把握しています。日々の勤務の様子から職員の状態を把握し、早退や欠勤があった場合は、朝礼で職員配置を調整し、自ら補助に入っています。副主任3名も職員の様子や健康状態を見て声をかけたり、相談に応じたりしています。</li> </ul>
<p><b>VI-3</b>  <b>効率的な運営</b>  </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営に影響のある情報は園長が収集・分析したり、設置法人本部から情報提供や助言があります。2か月に1度、鎌倉市民間保育園園長会があり、園長が出席して経営に関する議題や、保育の内容に関することについて意見・情報交換、相談をしています。</li> <li>・毎月1回、運営委員会（園長、総主任、各クラス主任、調理担当が出席）を開催しているほか、随時、副主任会議（園長、総主任、副主任3名が出席）を開催して、重要な議題について話し合っています。</li> <li>・中期計画として「6年間の目標」が策定されており、それに沿って、単年度の目標設定と4分野に分けた「Programming 活動計画」が立てられています。</li> <li>・設置法人が策定した「カリタスの園 キャリアパス」に基づいて、後継者を育成しています。人材確保のため、障害者雇用の促進や働き方改革に沿った働きやすい労働環境などについて常に検討しています。</li> <li>・設置法人全体として、公認会計士や社会保険労務士など外部の専門家の意見を取り入れるように努めています。</li> <li>・福祉サービス第三者評価受審による運営の見直しや、職員の養成、該当職員のキャリアアップ研修の受講、新しい学びを生かした保育の質の向上などを重要課題と捉え、保育所全体として取り組んでいます。</li> </ul>





## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	%	28	65	4	3	0



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	%	76	20	2	1	0

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	71	23	1	0	5	0
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	48	40	10	1	1	0
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	52	41	4	2	1	0
	その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	66	29	3	1	1	0
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	53	41	5	1	0	0
	その他:					
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	50	38	8	4	0	0
	その他:					

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	47	43	9	0	1	0
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	41	45	11	0	3	0
	その他:					

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	70	25	3	0	2	0
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているか については	71	18	8	1	2	0
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置 いてあるか、年齢にふさわしいかな ど)	70	27	2	0	1	0
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなど の、園外活動については	55	28	12	4	1	0
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関 わりが十分もっているかについては	64	30	3	1	2	0
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくり への取り組みについては	58	33	7	0	2	0
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	78	17	0	2	3	0
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるか については	76	23	0	0	1	0
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗 いなど)の自立に向けての取り組み については	70	26	1	0	2	1
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じ て対応されているかなどについては	73	21	3	0	2	1
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お 子さんの成長に合わせて柔軟に進め ているかについては	62	26	2	0	9	1
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについて は	71	24	3	0	2	0
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者 への説明やその後の対応には	59	27	9	1	4	0
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	87	12	0	0	1	0
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	77	22	1	0	0	0
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	57	33	5	1	3	1
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	68	28	2	0	1	1
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	51	38	7	1	3	0
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	66	29	4	0	1	0
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	62	27	9	2	0	0
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	41	35	18	4	2	0
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	53	35	8	0	4	0
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	61	34	4	0	1	0
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	76	22	1	0	1	0
	その他:					

### 問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	%	80	17	3	0	0	0
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	%	79	20	1	0	0	0
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	%	63	24	0	0	11	2
	その他:						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	%	66	26	7	0	1	0
	その他:						
意見や要望への対応については	%	63	32	4	0	1	0
	その他:						

### 問8 保育園の総合的評価

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	%	70	28	2	0	0



# 観察方式による利用者本人調査

令和元年 9 月 10、18 日

事業所名：聖アンナの園

## 【0 歳児】

### <遊び>

(午前中) 1 階のマリアホールで遊んでいました。柔らかいボールの入ったビニールプール、子どもが乗れる車、木製の低めのジャングルジムなどがあり、子どもたちは気に入った遊びをしています。保育士がボールをまわすと子どもが真似て自分もやろうとし、「上手ね」とほめてもらいます。車を押してホールの中を回る子や、ジャングルジムの下をハイハイで上手にくぐる子もいます。保育士の膝にのった子どもは、保育士が 2 階から聞こえてくる 4 歳児の太鼓に合わせてリズムを取ると、にっこりとうれしそうにしています。

給食の時間が近づき、保育士が「ナイナイしよう」と声をかけると、子どもたちもボールを片付けようとします。子どもが手を差し出すとすぐに保育士に抱っこしてもらっていました。

### <排泄>

布団に寝かせてもらい、おむつを替えてもらっていました。保育士は手早くおむつ交換をし、「気持ちよくなったね」と優しく声をかけ、膝にのせます。「おズボン是这样ね」と声かけすると子どもは少しぐずります。保育士があやすと機嫌がよくなり、ズボンをはかせてもらっていました。

### <食事>

テーブルを囲み、子ども一人または二人に一人の保育士が付き援助していました。子どもの顔を見ながら、「アーン」「おいしいね」「あーおいしい」「あむあむ あむ あむ」などと穏やかなトーンの声をかけ、一口ずつ、スプーンですくって、子どものペースに合わせて口に運んでいました。子どもたちは落ち着いた様子で、一生懸命食べていました。手づかみで食べる子もあり、保育士同士で子どものできることを確認し合い、自分で食べられる子にはフォークに刺して渡していました。

### <午睡>

保育士が見守る中、照明を消してカーテンを閉めた保育室で、横向き、あおむけで静かに寝ています。眠れないのか、図書室で保育士が見守り、「うー、うー」と言いながら、ブロックで静かに遊んでいる子どももいました。

## 【1歳児】

### ＜室内遊び＞

室内には、柔らかいボールの入った大きめのビニールプール、ダンボール、マットを利用して作った山などが用意され、子どもたちは好きな遊びを思い思いに楽しんでいました。プールのふちをまたいでジャンプをする子、山によじ登ったり下りたりする子がいます。ダンボールの入口に保育士がひらひらしたテープを複数貼り付けようとする、子どもたちは興味津々で見つめます。できあがると早速にダンボールにすっぽりと入り、入口をしめたりしています。保育士の「いいおうちになったね」の声に、にっこり笑顔です。ほかの子もやってきて入りたそうなしぐさをしていると保育士が「入りたいの？入れてって言えばいいよ」と話します。ダンボールは複数あり、ダンボールに一人の子が入って2人の子が引っ張ったりしています。そこへ別の子が入ろうとしてもめています。保育士はそのたびに「いたって、順番こね」と話しています。給食の時間が近づき、ボールを保育士が袋に入れようすると、子どもたちも一緒に手伝います。両手にボールを持って入れる子もいます。

### ＜園庭遊び＞

砂場で遊ぼうと子どもたちが園庭に出てきました。砂遊びに没頭する子もあれば、幼児が運動会の練習をしている笛の音や動きに興味を持って、立ち止まってじっと見たり、近づいていこうとする子もいます。幼児の練習が終わると、演技に使ったペットボトルのふたがたくさん落ちているのを見つけて、拾おうとする子がいました。それをまねる子が、一人、二人と増えてきて、保育士が「拾ってあげようか。ナイナイしよう」と声をかけ、かごを差し出し、近くにいた子どもたちはみんなで拾うことになりました。

### ＜食事＞

読み聞かせをしていた隣のスペースから、子どもが少しずつテーブルのあるスペースに移動して来て、全員一斉でなく、順次食事を始めます。食物アレルギーのある子どもは、テーブルからやや離れた席で、保育士1名が側について援助していました。子どもはスプーンを使ってカレーライスを自分で一生懸命に食べていました。保育士は「じゃがいもさん、いっぱいだね」「にんじん、おいしいね」の声かけをしたり、食べ終わった子をバナナの置いてあるテーブルに手をひいて連れて行き、「バナナ、食べる？」と聞いたりしていました。

## 【2歳児】

### ＜運動会の練習＞

ホールで運動会の練習をしていました。忍者になりきって巧技台を渡り、保育士2人が持つロープをくぐる、障害物競走です。ロープには色とりどりのテ

ープがたくさんぶら下がっています。子どもたちは「大事なお約束」など保育士の説明をよく聞いています。男の子から一人ずつ名前を呼ばれて、2列に座りますが、列以外の場所に座ってしまう子もいます。やっと並び終わるといよいよ忍者の始まりです。よ～いどんで笛が鳴ると、まず男の子忍者が走り、次に女の子忍者です。巧技台の上をハイハイで進む子、慎重によじ登って歩き、慎重に降りる子、ほとんど手をつかずに台に上がり駆けて降りる子とさまざまです。巧技台を降りると子どもたちは、うれしそうにテープをくぐります。保育士は「がんばれ～」と応援したり、巧技台を渡るのをちょっと手伝ったりしています。全員が終わると、保育士は「みんな上手！バンザ～イ。本当の運動会の日はもっと修行が増えるからね」と話すと、どの子もやる気いっぱいであれしそうです。

#### <排泄>

給食が終わると、子どもたちは保育士に声をかけられて、トイレに行きます。自分でズボンやパンツを脱いだり、保育士に手伝ってもらって便器に座ります。布パンツの子、トレーニングパンツの子とさまざまです。うんちをして、拭いてもらうのを待っている子もいます。トイレが終わると、トイレの床に敷いてあるマットの上でパンツやズボンを履きます。自分で履いたり保育士に手伝ってもらう子もいます。保育士は、「トイレ、みんないったかな？」と声をかけています。

#### <食事>

給食の前に、畳のスペースで絵本の読み聞かせをしています。1～5歳児は職員も各テーブルについて、子どもと一緒に食事をしています。給食はにぎやかな雰囲気です。子どもはスプーンとフォークを上手に使って食べていました。保育士は「おなかいっぱいになったかな」「あつまれしよう」と声をかけたり、泣いている子をあやしてしていました。すでに寝ている子も一人いました。

### 【3歳児】

#### <和太鼓の見学>

4歳児の和太鼓の練習を見学するため、2階のアンナホールに2列に並んで入って来ました。保育士の声かけでホールの後ろに横一列に座ります。保育士が舞台の上にある大太鼓やホールに並べられている和太鼓の取り扱いについて説明をすると、真剣に集中して聞いています。「来年はみんなできるかな？」の問いかけに、子どもたちは「ばら組？」とびっくりした顔です。「大きいのは持てない」と不安の声も上がりましたが「大丈夫、大きいのは先生が持ちます」と言う保育士の返事で安心した様子でした。保育士から「体操座りできないと、できないでしょ」と言われ、子どもたちは全員体操座りをします。ばら組(4歳

児)が入ってきて、いよいよ和太鼓の練習が始まり、元気いっぱいの和太鼓演奏の様子にじっと見入り、大人しく静かに見学していました。自然に体を揺らしたり手をたたいたりする子もいました。

#### <英語遊び>

保育室で専門講師による英語遊びが始まります。講師が来る前に、「前へならえ」をしてまっすぐに並びます。保育士に「素敵です」とほめられます。講師と一緒に音楽に合わせて体操をしたり、振りをつけながら英語で「手をたたきましょう」の歌を歌います。元気いっぱい歌ったので、講師に「OK」とほめられます。講師が天気などのいろいろな絵カードを見せると、子どもたちは集中して聞き、すかさず「YES」「NO」と答えます。講師が10個の大きなソーセージのカードを出すと、興味津々で見つめ、ソーセージがだんだんと減っていくと「キャー」とおおはしゃぎで、どの子も楽しそうにしていました。

#### <排泄、手洗い>

給食の前にトイレに行きます。男の子はズボンを床におろして小便器でおしっこをする子もいます。保育士は子どもの様子を見守っています。トイレが終わると手を上手に洗い、ポケットからハンカチを出して拭いています。食事用のエプロンを自分でつけています。

#### <食事>

給食の前に、おしぼりを自分でしばって用意をします。頑張っ飛ばろうとしますが、上手にしばれなくてちょっとゆるいおしぼりの子もいます。子どもたちは自分でトレイを取りにいきます。保育士がおかずと味噌汁を配ります。今日は調理員がふりかけを手作りして、ごはんにかける日です。保育士が「ごはんを見せてね」と言うと、子どもたちはうれしそうにご飯の入ったお弁当箱を見せます。保育士がふりかけをかけ、子どもたちは喜んで食べています。

### 【4歳児】

#### <和太鼓の練習>

アンナホールに入ると、すでに3歳児が一行に座っているのに気づき、子どもたちはちょっとびっくりした顔をしました。舞台の上にある大太鼓やホールに並べた和太鼓のところに子どもたちは立ちます。保育士が「お客さんいっぱいいるけれど、間違えても悲しまなくていいです。力いっぱい上手なところを見せてあげてください」の声に、子どもたちは声を揃えて「よろしく願います」と答えます。子どもたちは保育士の指揮をよく見ながら、リズムに合わせて和太鼓をたたき、両手を上げたり、片方の手を上げたり、太鼓のふちを叩いたりしています。途中でバチを落としてしまう子もいましたが、すぐに拾って一生懸命に続けます。一通り終わると子どもたちは声を揃えて、掛け声をか

け、「や〜っ！」とみんな元気いっぱいです。

#### <食事>

4歳児も食事用のエプロンをします。子どもたちは自分でトレイとバナナを運びます。野菜とカレーを自分で慎重なしぐさで運んでいます。食べたい野菜の量を保育士に自分で伝えている子もいます。食前の賛美歌とお祈りをし、いただきますをします。お弁当箱に入れて持ってきた白米を、自分で上手に取り分けて、カレールーをかけ、各自持参の箸やスプーン、フォークを使い分けて、上手に食べていました。誕生日の子どもが、「お誕生日おめでとう」と書かれたカードをコップに立てかけ、友だちと一緒に見ていました。近くの席の子どもが、歌が好きだと話し、自分で作ったダンスのついた歌がある、「マイクをもって歌うのはかっこいいよ」と言ってその場で少し披露してくれました。「金魚には、お母さん指に水を付けて餌をくっつけて水槽に入れると寄ってきて食べるけれど、金魚は歯が無いから咬まないの」と話してくれる子、持参の水筒の水がなくなったときは、先生に言って給水機から補充してもらえる決まりがあると教えてくれる子もいました。自由に友だち同士で楽しそうにおしゃべりしながら、食事が進みました。保育士からお代わりは長い針が12までと声がかかり、食べたい子どもは、何回もお代わりのカレーをもらいに行っていました。保育士から、汚れたエプロンは自分の判断で持ち帰ってもよいこと、今日はカレーだったので、特に口の周りをよく拭いて綺麗にすることなどの指示があり、子どもたちはよく聞いて従っていました。保育士がピアノの音で、子どもたちを注目させ、ごちそうさまの歌を歌い、お祈りをして、いったん終了となりました。自分でトレイや食器を慣れた様子で運んで片づけ、もう少し食べたい子は、場所を移動して食べていました。

#### <4, 5歳児 園庭でパラバルーンの練習>

暑い中、園庭で4, 5歳児一緒にパラバルーンの練習をします。体育講師の掛け声で準備体操をします。「頑張るぞ〜、お〜！」と子どもたちは元気いっぱい行進をして、4歳児と5歳児が別々の輪になります。音楽に合わせて、縦波や横波、メリーゴーランドなどの演目を披露していきます。講師の合図でバルーンの中に入って足をバタバタしたり、風船のようにバルーンを膨らませたりします。子どもたちは汗をかきながらも講師の説明をよく聞き、集中して取り組んでいます。講師が「花火、打ち上げるからね。あと、1回で終わります」と言うと、保育士が「最後だから頑張って」と励まし、子どもたちは一生懸命頑張ります。最後の花火打ち上げの場面では色とりどりのペットボトルの蓋を投げ、挨拶が終わるとすぐに、子どもたちは一斉にかけ出して蓋を拾っていました。



## 【5歳児】

### ＜組体操の練習＞

園庭で、4、5歳児がパラバルーンの練習を終えると、5歳児は続いて組体操の練習です。組体操は、裸足でやっています。一列に並んだ子どもたちに、保育士は「前の人、一步前に」と言うと、さっと2列になります。講師の「しゃべってたらできないんだよ」と注意を受け、子どもたちは姿勢を正します。講師の合図で、前列の子は片方の足を後列でつないでいる子どもたちの手の上に置きます。太鼓の合図でゆっくりと足を上げようとしますが、後ろの子が支えきれず、うまくいかない子どももいます。講師や保育士の励ましで、もう一回挑戦します。後ろの子どもたちは一生懸命頑張っていて、今度は上手にできました。保育士も「すごい、すごい」とほめていました。

### ＜食事＞

暑い中、園庭で一生懸命頑張ったので子どもたちは汗びっしょりです。子どもたちは順番にシャワーを浴び、保育士に洗ってもらいます。着替えをしていると、突然ピアノが鳴り、子どもたちは集中して保育士を見ます。「おきがえは後ろでやってください」の保育士の声で、後ろのほうで着替えます。

給食の準備のため、5歳児も食事用のエプロンをつけます。慣れたしぐさでトレイやおかず、カレーを自分で運びます。保育士のピアノに合わせて賛美歌を歌い、十字を切ってお祈りをして、いただきますをします。子どもたちはにぎやかに会話を楽しみながら食事をしています。大好きなカレーライスの日で多くの子どもがおかわりをしていました。

## 事業者コメント

### 聖アンナの園

2019 年度第三者評価を受審し、沢山の気づきがありましたが、中でも

1. 職員全員が 1 つとなって同じテーマに沿い、日々の保育を振り返り、話し合いを通して具体的な意見交換ができた事は互いの資質の向上になった。
2. 各自が第三者の目を通して、自己評価していく中で、自分達の強みと弱みがうきぼりになり、改善すべき点と、更に工夫すべき点が明白になり、研修・会議の進行がスムーズになった。
3. 今回鎌倉市以外の評価機関に依頼したが、市によって強調する事柄に差異があるのではないかと感じた。